

平成24年第4回定例会

市長報告

小金井市の可燃ごみ処理について

市長報告

小金井市の可燃ごみ処理について

本日は、平成24年第4回定例会開会中のお忙しいところ、市長報告として発言をお許しいただきありがとうございます。

はじめに、現在、小金井市の可燃ごみ処理にご支援をいただいている稲城市、狛江市、府中市、国立市を構成市とする多摩川衛生組合、三鷹市、昭島市、日野市の各施設周辺にお住まいの皆様並びに関係者の皆様をはじめ、平成19年度以降、広域支援をお願いしました施設周辺にお住まいの皆様並びに関係者の皆様に心から御礼申し上げます。さらに、多摩地域における廃棄物の最終処分場の運営に関し、ご理解・ご協力をいただいている日の出町の皆様に改めて感謝を申し上げます。

また、小金井市民の皆様には、日頃からごみ減量にご協力をいただき、市民一人当たりのごみ排出量は全国的にもトップレベルの少なさでありながら、可燃ごみの処理につきまして市民の皆様にご心配をお掛けし、誠に申し訳ございません。

この間、小金井市といたしましては、課題の解決に向け、全力で取り組んできたところでございますが、本日、日野市議会定例会において馬場市長が以下のとおりご発言されたとの報告を受けてございますので、本市議会にその内容をお伝えさせていただきます。

行政報告の内容につきましては、日野市クリーンセンター可燃ごみ処理施設の建て替えについて、国分寺市・小金井市との共同化を日野市として内部決定を行ったこと、さらに、このことを踏まえ11月13日クリーンセンター地元環境対策委員及び周辺自治会へ説明会を行い、今後も、地元住民の皆様にご共同化についてご理解いただくよう、誠意を持って説明を続けていくというものでございました。

本市といたしましては、このご発言をしっかりと受け止めてまいりたいと考えておりますが、日野市においては地元の皆様との対応を重ねている状況でございます。したがって、引き続き市議会議員各位並びに市民の皆様のご理解をお願い申し上げ、市長報告といたします。

どうぞ、よろしくお願い申し上げます。